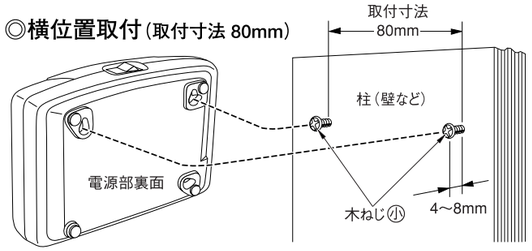
■電源部の取付方法

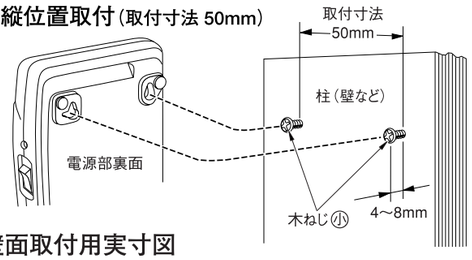
●電源部（NPS-50F）を柱・板壁・かもいなどに取付ける場合

柱（壁）の表面から4～8mm出るようにして木ねじ㊀をねじ込んでください。
下記表示の壁面取付用実寸図を型紙としてご利用ください。

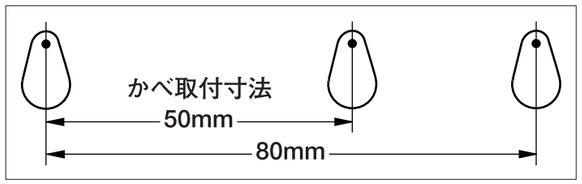
◎横位置取付（取付寸法 80mm）



◎縦位置取付（取付寸法 50mm）

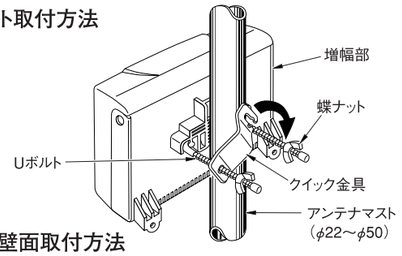


●壁面取付用実寸図



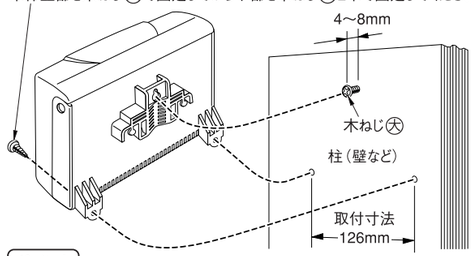
■ブースター（増幅部）の取付方法

●マスト取付方法



●柱・壁面取付方法

本体上部を木ねじ㊇で固定してから下部を木ねじ㊇2本で固定してください。



ポイント マスト取付用金具一式は取りはずしてください。

■電源部標準性能表

項目＼型名	NPS-50F
電源（V／W）	AC100（50/60Hz）／10
重畳電源（V／mA）	DC15／最大500
入力インピーダンス（Ω）	75
出力インピーダンス（Ω）	75
挿入損失（dB）	2.5以下
使用温度範囲（℃）	※ −10～+40
寸法（mm）	高さ46　幅145　奥行97
質量（g）	400

■増幅部標準性能表

項目＼型名		N-35MW			
周波数帯域		VHF		UHF	BS・110°CS
受信チャンネル・周波数		FM・1～3ch	4～12ch	13～62ch	1032～2150MHz
利得（dB）		22～26	30～34	28～34	0～−4.5
利得調整範囲（dB）		0～−15	0～−15	0～−15	——
切換式固定ATT減衰量（dB）		——	0／−10	0／−10	——
適正入力レベル（dBμV）		40～94	40～96	40～99（2波） 40～94（7波）	65～100
定格出力レベル（dBμV）		105（2波）	105（5波）	108（2波）／103（7波）	——
雑音指数（dB）		2.0～3.5	1.5～3.0	2.0～3.8	——
入力インピーダンス（Ω）		75		75	75
出力インピーダンス（Ω）		75			
電圧定在波比		3以下			2.5以下
相互変調（dB）	IM2	−53以下		——	——
	IM3	——		−64以下（7波）	——
混変調（dB）		−46以下	−46以下	−46以下（2波）	——
重畳電源（V/mA）		DC15／190			
消費電力（W）		4.5			
通電容量（V/mA）		DC15／270			
使用温度範囲（℃）		※ −10～+40			
寸法（mm）		高さ 120.7　幅 150　奥行 57			
（g）		600			

※ 本体周囲温度

●性能表の値はヘッド仕様、FM増幅の時です。
●FMトラップ周波数は79～85MHzに調整してあります。
●適正入力レベル範囲はチャンネル数及び各チャンネルのレベル差などにより多少異なります。
●BS・110°CSは右旋円偏波専用です。

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎（03）3893-5221（大代）

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
D841010502　平成16年9月

NIPPON ANTENNA

取扱説明書

BS・110度CSデジタル放送対応 2150MHz 電源分離型ハイパワーブースター（全端子F座型）

デジタルハイビジョンマーク適合品

●UV増幅,CS・BS混合パス型

MODEL **N-35MW**

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。

JEITA DH

（社）電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで、衛星放送及び地上デジタルテレビジョン放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。

⚠注意

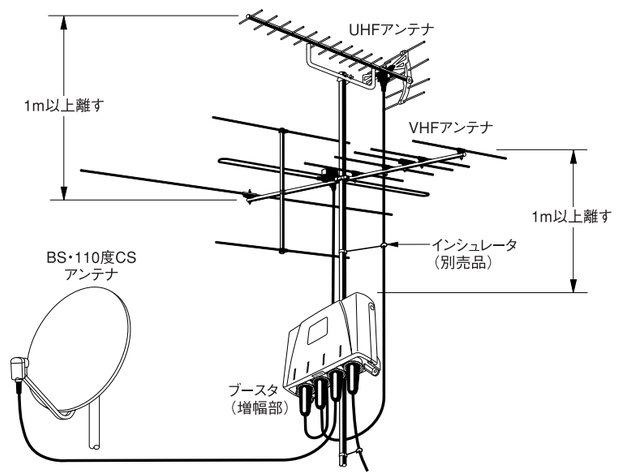
●入力・出力端子のケーブル配線は確実に行ってください。（ブースターの入出力端子の接続方法が悪いと画像不良の原因となります。）

ポイント

●コネクタの接続は確実に行ってください。コネクターがゆるんでいると、風によるケーブルの振動等により、コネクターがはずれることがあります。ケーブルは別売のインシュレーターでしっかり固定してください。

●付属品

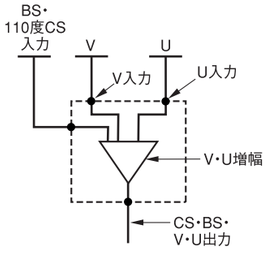
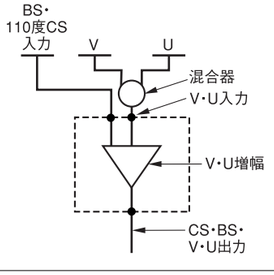
防水キャップ ……4個
5C接栓（リング付）……6個
壁面取付木ねじ（大：3本、小：2本）……5本



■特 長

1. **BS・110度CS／V・U混合回路内蔵**
   FM・VHF・UHF・BS・110度CS信号を1本のケーブルで屋内に配線できます。
2. **BS・CS電通（電流通過）スイッチ付**
   BS・110度CSアンテナ（コンバーター）へ電源を供給する場合は電通スイッチの切換により対応できます。
3. **VHF・UHF高出力・低雑音で利得調整器（GC）付**
   VHF（Lo ch）、VHF（Hi ch）、UHF各帯域を高出力、低雑音設計、また独立した利得調整器（GC）が付いていますので広範囲に使用でき安定した画像を再現します。
4. **ライン・ヘッド切換回路内蔵**
   V・U別（ヘッド）入力またはV・U1本（ライン）入力、どちらでもスイッチの切換により対応できます。
5. **FM増幅、FMカットスイッチ内蔵**
   FM電波が強く、画面にしま模様が出る場合は、FMカットができます。また遠距離でのFM受信の時は、FM増幅することができます。
6. **電源部はスイッチングレギュレーター方式**
   増幅部への電源供給だけでなくBS・110度CSアンテナ（コンバーター）へも供給できます。また過電流保護回路が内蔵されていますので電源部と増幅部間のショートなどの異常から電源部を保護します。
7. **シールド構造**
   外部は樹脂ケース、内部は不要放射等を抑えたシールド構造となっています。

V・U, ライン・ヘッド両用

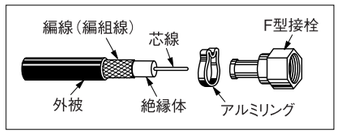
	N-35MW
V・U別入力（ヘッド仕様）	
V・U一本入力（ライン仕様）	

日本アンテナ

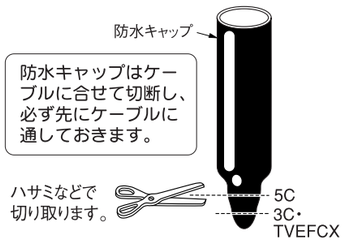
■同軸ケーブル加工法とF型接栓（付属品）取付方法

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

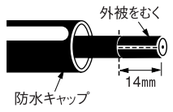
■ケーブルの名称（75Ω用）



●アルミ箔付同軸ケーブル（FB型）の場合のアルミ箔処理は絶縁体と同様に加工してください。

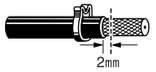


❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1mm程度）



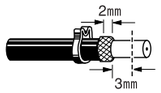
❷ 外被の皮をむきアルミリングを通しておきます。

❸ 外被から2mm程度はなして編線（編組線）をていねいに切り落としてください。

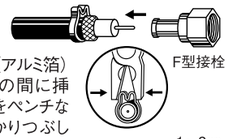


❹ 編線（編組線）をめくりあげます。

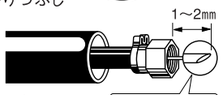
❺ 編線（編組線）から3mmはなして絶縁体を切り、抜きとります。



❻ F型接栓を絶縁体（アルミ箔）と編線（編組線）の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



❼ 芯線の先端は1～2mm出し、斜めにカットしてください。
長くしますと接栓座を破損します。



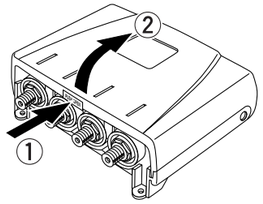
ポイント
- ●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。
- ●芯線に付着物がないか確認し、ある場合には、きれいにとってください。

●F型接栓締付トルク　2.5～3.0N・m（0.25～0.31kgf・m）

⚠注意 加工の際の、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

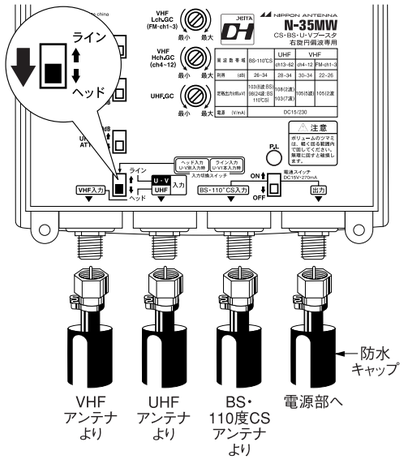
■増幅部の接続方法

●ケースの開けかた

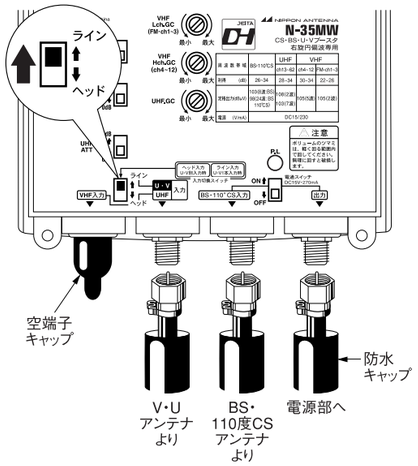


“PUSH”文字部を指で押してからカバーを本体と直角程度まで開きますとストッパーが掛かり、カバーは開いた状態で固定されます。
レベル等の調整が完了したら、カバーをしっかり閉めてください。

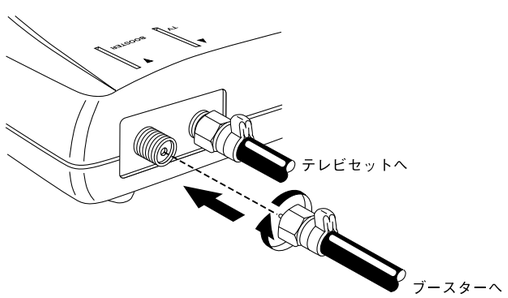
●V・U別（ヘッド）入力の場合



●V・U 1本（ライン）入力の場合



■電源部の接続方法



⚠注意

電源部と増幅部間で万一ショートしている場合、電源部保護回路が働き、ブースターは動作しませんので電源スイッチを切ってから、その間の配線等をチェックしてください。

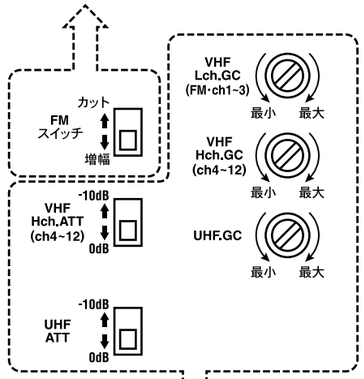
⚠注意
- ●電源部の設置場所はテレビの上などの風通しの良い、目の届く位置に設置してください。押入や天井裏などの見えない場所や、水のかかる所、湿気の多い所はさけてください。
- ●電源部の上には可燃性の物をのせないように注意してください。
- ●長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

■使用例及び接続方法

⚠注意
- ●ブースター端子、テレビ端子への接続は絶対まちがえないよう注意してください。故障の原因になります。
- ●使用しない空端子は、必ず空端子用キャップを付けてください。

●FM増幅・FMカット（トラップ）切換スイッチ及び利得調整

FM電波が強く、テレビ信号に妨害を与えるときは切換スイッチを“カット”側にセットします。（出荷時は“増幅”側にセットされています。）

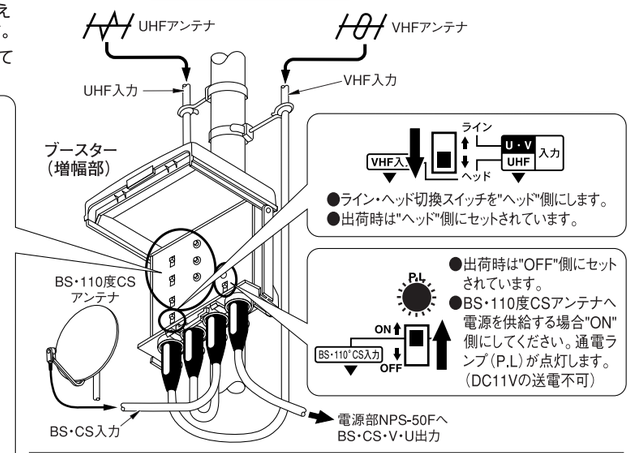


テレビ電波が強すぎて画面にシマ模様が出る場合は、利得調整ツマミを“最小”方向へ回し、鮮明な画像になるようにツマミを回して調整してください。
（出荷時のG.Cは利得最大、ATTは0dBにセットされています。）

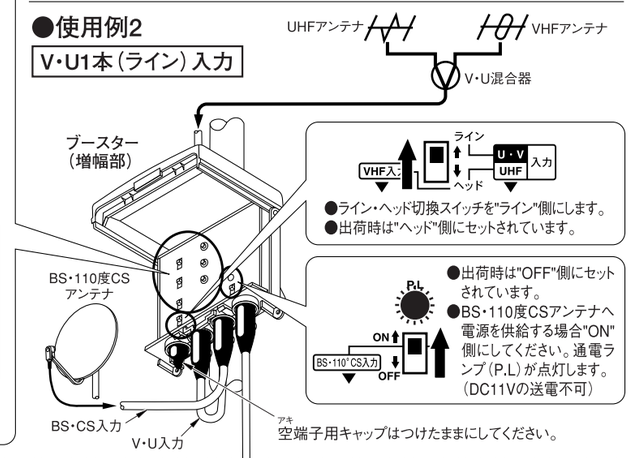
適正入力レベル範囲（dBμV）		
	利得最大	利得最小
VHF（Lch）	40～79	50～94
VHF（Hch）	40～71	50～96
UHF	※1　40～69	※1　50～94

●適正入力レベル範囲は、チャンネル数及びチャンネルのレベル差などにより、多少変動があります。　※1：7波時

●使用例1　V・U別（ヘッド）入力

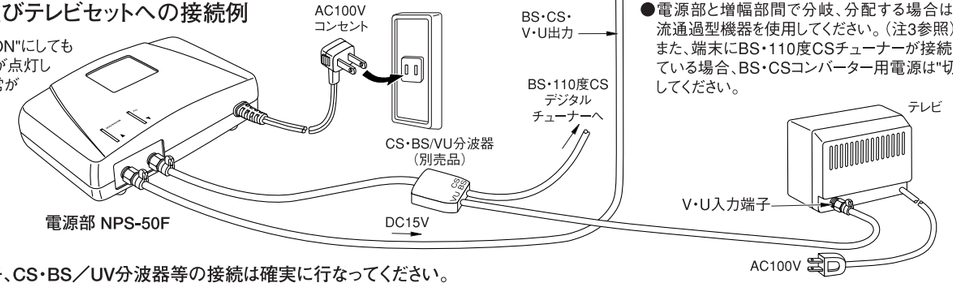


●使用例2
V・U1本（ライン）入力



●電源部及びテレビセットへの接続例

電源スイッチを"ON"にしてもパイロットランプが点灯しない場合は、異常が発生しています。すぐにスイッチを"OFF"にして（注3）を参照にして処理してください。



●電源部と増幅部間で分岐、分配する場合は、電流通過型機器を使用してください。（注3参照）
また、端末にBS・110度CSチューナーが接続されている場合、BS・CSコンバーター用電源は"切"にしてください。

●入・出力端子、CS・BS／UV分波器等の接続は確実に行なってください。

■使用上の注意

注1　ブースター取付後テレビ画面にスノーノイズ（画面全体がツブ状の雑音で不鮮明になる）や、自動車、その他の雑音がある場合には、アンテナ設置の位置、方向および高さなどを変えて最良の画像が得られるように調整してください。またアンテナ給電部、入出力端子、分波器等の接続が確実に行われているかをチェックしてください。地域によっては航空レーダー等により障害を受ける場合がありますので、このような場合は増幅部を軒下などの障害を受けにくい場所に移動してください。

注2　本器の動作は電源部のスイッチで行ないます。接続されているテレビなどの電源スイッチではON,OFFできません。

注3　電源コードをAC100Vに接続し、電源スイッチをONにしてもP.L（パイロット・ランプ）が点灯しない場合は電源部と増幅部間等でショートなどの異常が発生して過電流保護回路が動作しております。接続部分をチェックしてください。なお電源部と増幅部間に電流通過型でない分配器などが接続されていますと同様な異常が起ります。その場合は電流通過型に交換してください。

注4　電源部はこのブースター専用です。他の電源を使用することはできません。

注5　AMラジオの近くに電源部を置くとAMラジオに雑音が入ることがありますので、電源部はAMラジオからできるだけ離して（約1.5m以上）ください。

注6　電源部は少し温かくなりますが、これは電子部品の放熱作用によるもので異常ではありません。

注7　本器の衛星入力は右旋円偏波専用です。

注8　チャンネル間のレベル差が大きい場合や地域によるチャンネル配列の状況によっては、別途、フィルターや混合器が必要になる場合があります。

注9　デジタル放送受信は、電波が弱く所要C／Nが得られないと、ブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が発生する場合があります。